

甚小だより



あま市立甚目寺小学校
22号
平成25年3月13日

学校評議員会の開催 — 学校評価と次年度に向けて —

3月4日(月)に学校評議員会を開催しました。本校の評議員は、学校関係者と地区在住者の4名で構成されています。学校行事や授業公開日での参観に限らず、地域を語る講師をお願いするなど、できる限り学校の教育活動に接していただき、ご意見を伺っています。

学校評価結果は、下記の通りです。

《評価概要》

評価形式：無記名 各項目4段階評価

4 とてもそう思う 3 少しそう思う 2 あまりそう思わない 1 全くそう思わない

※ 平均評価から傾向を考察

評価者：4～6年児童、保護者、教職員、学校評議員

評価時期：平成25年1月



児童のアイデアが光った6年生を送る会



創立140周年を記念した組み体操種目

《評価結果》

【学校生活】

		H24	H23
児童	学校生活は楽しいと思いますか。	3.40	3.49
保護者	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。	3.70	3.75
教職員	あなたは、児童が楽しい学校生活を送れるように教育活動を実践しましたか。	3.62	3.43

【家庭への連絡】

児童	先生達は、家への連絡やお知らせをきちんとしていてくれると思いますか。	3.44	3.55
保護者	教師は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	3.34	3.21
教職員	あなたは、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていますか。	3.43	3.38

【わかりやすい授業】

児童	先生は、わかりやすい授業をするように努力していると思いますか。	3.55	3.69
教職員	あなたは、わかりやすい授業の実践に努めていますか。	3.38	3.38

【授業の工夫①】

児童	先生は、あなたが授業に集中できるような工夫をしていると思いますか。	3.16	3.39
教職員	あなたは、児童が授業に集中できるような工夫をしていると思いますか。	3.19	3.29

【授業の工夫②】

児童	先生は、あなたの思いや考えをどんどん発表したくなる工夫をしていると思いますか。	3.00	3.13
教職員	あなたは、児童が思いや考えを意欲的に発表する工夫をしていますか。	3.00	3.24

- 学校生活については、児童・保護者・教職員の三者とも、「とてもそう思う」回答が多く、楽しい学校生活を送れていると、高く評価されています。
- 教師のわかりやすい授業に対する取り組みは、児童からは高く評価されています。
しかし、授業に集中できるような工夫という観点では、昨年度の評価数値を児童、教職員とも下回っています。
- 本年度も、話し合い活動に力を入れて授業を工夫してきましたが、昨年度より低い評価になっています。話し合い活動の教科に偏りがあり、児童の受け身姿勢の改善が進まなかったことがうかがわれます。



算数科における対話の一場面

【今後の取り組み】

- 対話(2人)→会話(グループ)→討論(全体)などのステップを踏んだ話し合い活動の実践を継続して取り組んでいきます。
- さらに、ICTの活用も視野に入れ、児童が意欲的に集中して授業に取り組める工夫を模索していきます。

【生活指導・生徒指導①】

H24 H23

児童	あなたは、元気よくあいさつをしていると思いますか。	3.14	3.15
保護者	お子さんは、元気よくあいさつをしていると思いますか。	3.32	3.07
教職員	あなたは、児童が積極的にあいさつするような指導に取り組んできましたか。	3.43	3.33

【生活指導・生徒指導②】

児童	先生は、いじめのない楽しい学級づくりに、つとめていると思いますか。	3.46	3.50
保護者	教師は、いじめのない楽しい学級づくりに努めていると思いますか。	3.40	3.51
教職員	あなたは、いじめのない楽しい学級づくりに努めていますか。	3.62	3.62

【人権教育①】

児童	あなたは、クラスの人や友だちの気持ちを大切に生活していると思いますか。	3.40	3.40
保護者	お子さんは、クラスの人や友達を大切に生活していると思いますか。	3.47	3.61
教職員	あなたは、学級の人や友達を大切に生活するような児童の育成に努めましたか。	3.62	3.67

【人権教育②】

児童	あなたは、言葉づかいに気をつけて生活していると思いますか。	2.86	2.97
保護者	お子さんは、言葉遣いに気をつけて生活していると思いますか。	2.94	2.86
教職員	あなたは、児童が言葉遣いに気をつけて生活するような児童の育成に努めましたか。	3.19	3.38

- あいさつについて、保護者・教職員とも高い評価になっていますが、児童は厳しく自己評価をしています。
- いじめのない学級づくりについては、児童の意識、保護者の見方、教師の指導とも高い評価になっています。これは、人の気持ちを大切に生活している評価と重なり合うようです。
- 正しい言葉遣いをしましょうと学校では、指導していますが、児童自身の自己評価は、昨年同様に低くなっています。これは、学校生活から離れたときの言葉遣いの評価や、家庭内での言葉遣いの評価が入っていると思われます。

【今後の取り組み】

- 人権意識を高め、コミュニケーションスキルを高めるために、アサーショントレーニングやハッピートークトレーニングの実践を継続していきます。また、機会あるごとに「甚小なかよし宣言」の唱和の励行を促していきます。



ユネスコスクールのプレートを玄関に設置



アサーショントレーニングの一場面

【校内研究】

H24

- 本校の特色でもある ESD の取り組みについては、高い評価になっています。また、授業研究や言語活動や理数教育の取り組みについてもおおむねよい評価となっています。

教職員	ESD・ユネスコスクールの充実した取り組み	3.24
	授業研究の充実した取り組み	3.10
	言語活動の充実した取り組み	3.10
	理数教育の充実した取り組み	3.14

【今後の取り組み】

来年度も継続して、ESDの視点に立った授業を進めます。また、授業公開も視野に入れて取り組んでいく予定です。

《学校評議員会の会議録より》

※ 学校評価を示し意見交換

平成25年3月4日開催

- あいさつは、いつ学校に来て、元気にあいさつできている。自己評価が厳しい。「あいさつできているよ」とほめていくと自己評価は上がると思う。
- 5年生の朝市は、よい社会体験。これからも続けてほしい。
- 甚小タイム発表会はすばらしい。ビデオでもよいので、他学年も見ることがあるとよい。特に、次年度取り組む子どもたちが内容を把握していると、意欲的に取り組める。
- すばらしい実践なので、積み上げ部分の理論を構築していくとよい。